



# 市議会9月定例会で可決

9月1日～29日に開催された市議会9月定例会で可決された主な内容をお知らせします。

低所得世帯に対して電力・ガス・食料等価格高騰緊急支援給付金を支給

当たり5万～110万円を支給。

物価高騰の影響を大きく受ける住民税非課税世帯などに支援給付金5万円を支給。

1億4545万円  
公立保育所・幼稚園などにおける園庭遊具の更新  
公立保育所・幼稚園などに設置しているブランコやすべり台など大型・複合遊具の更新。

26億7000万円  
介護・障がい福祉サービス事業所、保育所などに応援金を支給

4650万円  
小学校遊具・体育器具の整備  
(令和4～5年度)

コロナ禍における物価高騰などへの支援策として、事業所の規模に応じて、1事業所

安心安全に利用できる環境

を整備するため、使用を中止している小学校の遊具などの撤去・新設。

2億8390万円  
市役所本庁舎を改修(令和4～7年度)

バリアフリー対応のため、低層棟に接続するエレベーターやトイレを備えた棟を増築するほか、既存施設の改修と設備の更新などを実施。

27億4483万円

## 多文化共生ワンストップ相談センターがオープン

10月、千里ニュータウンラザ6階に、外国人が多言語で在留手続き、雇用、医療、福祉、出産・子育て・教育などの生活に関する相談ができる同センターがオープン。多言語で対面や電話、メールでの相談ができます。行政書士、社会保険労務士、弁護士による専門家相談も月1回開

催します。多文化共生ワンストップ相談センター(06-8855-1770@soutan@suita-sifa.org)。



詳しくはこちら



このマークが目印

### 市長コラム No.87

## こもれび通り

後藤圭二



### こたつの周りで



コラムの音声版はこちら

祖父母と共に育った私には、大学でアパート暮らしを始めるまで自分の部屋はありませんでした。兄は間仕切りのカーテンの向こうにおり、ふすまの向こうに両親の気配を感じながら育ちました。

食卓、こたつの周り、テレビの前は家族が集まるところ。そこでは、誰とも話したくない反抗期であっても、家族の話に「うん」「いや」と口を開かざるを得ません。

公民館、図書館、そして児童センターが同居する「まちなかりビング北千里」が、いよいよ今月オープンします。利用する目的の異なる人との交流が自然と生まれる、リビングのような空間になっています。一方でそれは、縦割りと言われる行政に横串を刺す仕掛けとも言えます。

公民館、市民センター、幼稚園・保育園、小中学校、学童施設、高齢者施設、体育館、文化施設など、これまでそれぞれの部署が設置運営してきた数多くの公共施設は、今後20年で一斉に建て替え時期に入ります。複合化すれば安くあがる、というのでは決してなく「本来複合的に運営すべきだった」施設同士が、こたつの周りに集まり話し合い、互いを知って新たな反応が起こる場になりたい、その思いを施設の名称に込めています。

この「まちなかりビング北千里」には、そこに集う人々がぬくもりを感じられるよう、ふんだんに能勢の木材を使用しました。ぜひこのあたたかな空間で豊かな時間を味わってください。